

# 一般質問

## 人命と財産を守るために



太陽クラブ 北浦 義一



9月13日に蒲生地区で実施された防災訓練

広報紙、ケーブルテレビ、防災出前講座を活用して危険箇所周知、啓発活動を行っています。

また、昨年度は、土砂災害警戒区域などに指定された各自治会に出向き、危険箇所の点検や防災のポイント説明、聞き取り調査を実施しました。

**問** 25年の台風18号で、床上浸水等の被害があったドリームハイツの対策は。

**答** 愛知川増水時における、向田川からの逆流による浸水対策の応急措置として、内水排除を行うための排水ポンプ車導入と、仮設ゲートを設置しました。

今年度は、地元自治会との協議を進め、堤防等の詳細設計と用地測量を行う予定です。  
用地測量が完了次第、用地買収を進め、順次工事に着手する予定です。

**問** 能登川ひばり保育園とめじろ保育園の今後の整備計画は。

**答** 能登川ひばり保育園は、認定こども園として現在地に建て替え、織寿苑跡地は駐車場と考えています。

めじろ保育園は、学校法人ヴォーリス学園が「そらの鳥こども園」として現在地で建て替え、29年4月に開園予定です。

## 通行に支障いつ解消



太陽クラブ 杉田 米男

**問** 市立能登川病院は、4月から指定管理による、医療法人社団昂会の経営となり、外来患者数も救急搬入台数も、昨年に比べて飛躍的に増えてきている。

能登川病院に向かう道路は一部区間、道幅が狭く救急車の通行に支障が生じており、市道の拡幅が必要では。

また、周辺の都市計画の区域区分の見直しが必要では。

**答** 能登川駅から能登川病院に向かう市道能登川高校線は、整備が必要な路線であると認識しています。

しかし、能登川駅東口周辺地域においては、現在着手している垣見隧道の整備後に、都市計画道路JR東口線や駅前広場の整備を進め、駅周辺地域のまちづくりを進めていく必要があると考えています。



病院への救急車両の通行が困難な市道

市道能登川高校線は、都市計画道路横川高校線として幅員14mの道路で計画決定がされており、整備が一刻も早く進むよう用地の確保が必要とす。沿線の土地利用の動きに合わせ、事前に対策を取っていき

いと考えています。

都市計画の区域区分の見直しは、現在、県に申し出る区域の選定と市街地整備の実現性および、見直しの妥当性などの論点整理を進めています。

**問** 市消防団のポンプ操法訓練については、どの分団も操法訓練場の確保に苦労されているが、解決策は。

また、消防署内に訓練場を整備してはどうか。

**答** 消防ポンプ操法の訓練は、既存の公共施設の駐車場等で実施していただいています。水利用や照明等の確保に苦慮されている訓練場もあり、公共施設の新設や改築で駐車場の整備に合わせ、訓練場としての使用を考慮した整備に努めます。

消防署に訓練場を整備することについては、消防署の施設整備計画との整合を図る必要があります。今後、東近江行政組合と協議して検討します。

**問** 東近江市地域防災計画に、市内における土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域が掲載されている。  
これらの危険地域の実態把握や災害防止に向けての取り組みは。  
**答** 市内にある土砂災害危険箇所は289カ所あり、毎年、県と合同でパトロールを実施し、状況把握に努めています。  
市では、防災マップや

**問** 県下の土砂災害区域の未指定区域は1190カ所であるが、市内の状況は。  
**答** 土砂災害警戒区域等は、昨年度に15カ所の指定を行い、未指定は44カ所あります。

今後も県と連携を図りながら区域指定に取り組む、土砂災害対策の推進に努めます。